

A black Toyota Vellfire minivan is shown from a front-three-quarter angle, parked on a paved road. The background consists of a dense forest of green trees under a clear blue sky. The van's sleek design, large windows, and distinctive grille are clearly visible.

最上級グレード「エグゼクティブラウンジ」誕生

低床フラットフロアでくつろぎの室内空間

ヴェルファイアはLサイズミニバンの人気車種。背の高い大柄なボディによつて車内は広く、3列の各シートに大人がゆったりと乗車できる。外観と内装は豪華な仕上がりで、ミニバンの優れた実用性と高級車の雰囲気を両立させた。このヴェルファイアがフルモデルチェンジを受けた。内外装のデザインはさらに豪華になり、助手席の快適性を大幅に高めた助手席スーパーロングスライドシート、2列目シートにプレミアムな感覚を与えたエグゼクティブランウンジなどを設定した。走行性能と乗り心地は、リアサスペンションの変更などによって向上させた。燃費性能は、ノーマルエンジン、ハイブリッドとともに改善を受けた。機能を幅広く向上させた新型ヴェルファイアに注目したい。



この運転を安心とくつねる空間

一
強
くで
コト
イコ
タツ
スカ



大きな車体でも先進技術で運転をサポート

文/渡辺陽一郎(カーライフ・ジャーナリスト)写真/奥隅圭之



ラインアップとウルキヤブ

Lineup & Welcab

ヴェルファイアのグレードは、3種類のパワーユニットに基づいて構成される。

直列4気筒2.5リッターのノーマルエンジンは、標準ボディがベーシックなXと上級のV、エアロボディがZになる。V型6気筒3.5リッターのノーマルエンジンは、上級グレードの組み合わせだ。VLと最上級のエグゼクティブラウンジを設定した。エアロボディのZAも選択できる。そして直列4気筒2.5リッターをベースにしたハイブリッドは、標準ボディがベーシックなX、上級のV、最上級のエグゼクティブラウンジ。これにエアロボディのZRを加えた。広い室内を生かして、福祉車両のウェルキャブを選べることも特徴だ。2列目シートの左側が電動によって車外にせり出すサイドリフトアップシート装着車を設定した。シートが車椅子として機能する脱着タイプも選べる。エアロボディを含め、ウェルキャブのベースグレードが幅広いことも特徴だ。



サイドリフトアップシ...

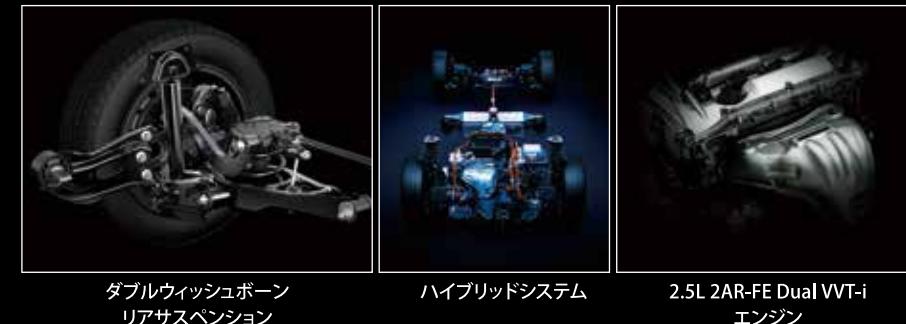


HYBRID V“L EDITION”(7人乗り・E-Four)(シルバーメタリック)

JC08モード燃費、ハイブリッド車は最高19.4km/ℓ。

パフォーマンス

ガソリン車には直列4気筒の2.5リッター、V型6気筒の3.5リッターがあり、これに2.5リッターをベースにしたハイブリッド車が加わる。駆動方式は、ガソリン車には前輪駆動の2WDと4WDを設定。ハイブリッド車は、後輪もモーターで駆動する4WDのみだ。エンジンやハイブリッドシステムは設計が見直され、動力性能や燃費性能を向上させている。直列4気筒の2.5リッターを搭載した2WDモデルは、アイドリングストップ装着車になるとJC08モード燃費が最高で12.8km/ℓに達する。ハイブリッド車は最高で19.4km/ℓと優れている。プラットフォームは、底面の部分に補強を加えるなどの改良を施して剛性を向上。リアサスペンションは、先代型は車軸式のトーションビームだったが、新型では独立式のダブルウイングボーンにグレードアップされた。走行安定性と乗り心地のバランスが向上し、床下収納スペースの確保などにも貢献している。



新型ヴェルファイアは、さまざまなシーンで運転を支援する機能を搭載している。

安全技術

先進的な安全装備にも注目したい。自動ブレーキを作動できる衝突回避の支援機能としては、プリクラッシュセーフティシステムがある。路上の先行車や障害物をミリ波レーダーで検知して、衝突の危険が迫ると警報を発し、衝突不可避の時には自動ブレーキも作動させる。先行車が時速20km、自車が時速80kmで走っている時なら、最大で時速60km程度の減速が可能だ。インテリジェントクリアランスソナーも、衝突の回避を支援する。ボディの前後に8つのセンサーを装着して、駐車場などでゆっくりと前進や後退している時の衝突を防ぐ。後退時を含めて、ブレーキ制御を行える。このほか、サイドカーテン／運転席ニーエアバッグを装着。LEDを使ったヘッドライト／コーナリングランプ／クリアランスランプも設定され、さまざまなシーンでの安全性を向上させた。



コンフォート

Lサイズの上級ミニバンとあって、車内の快適性や質感を高めるイルミネーションなどの装飾類も充実している。特に鮮やかなのは、LEDルーフカラーミネーションだろう。天井に装着されたLED照明で、後席を包み込むように枠状に配置されている。カラーのバリエーションは16色と豊富にそろう。光の強さも4段階で調節できる。スマートエントリーシステムも進化した。スマートキーに装着されたセットボタンを長押しすることで予約を行い、スマートキーを携帯して車両に近づくと、ドアロックが自動的に解除されてパワースライドドアが開く。予約操作が可能なので、両手に荷物を持った状態でも車内に入りやすくなっています。



エクステリア

ヴェルファイアは従来型から存在感の強いボディスタイルで高い人気を得ていた。フルモデルチェンジを受けた新型も、この特徴を受け継いでデザインされている。フロントマスクには、大型のメキギグリルを装着。前後左右に大きく張り出し、プレミアムな高級ミニバンであることを表現している。メキギグリルの両側には、切れ長のLEDヘッドライトを配置して、精悍でスポーティなイメージに仕上げた。その下側のバンパーもエアロ形状になり、ダイナミックな雰囲気を感じさせる。そしてエアロボディも設定。大開口のロアグリル、アンダースポイラーが迫力を醸し出す。ボディサイドにはエアロボディ専用のサイドマッドガードが装着され、横方向から見た時の外観も躍動的だ。



SAMPLE



ドライビングサポート

最も注目されるのは、世界初とされるインテリジェントパーキングアシスト2だ。バックモニターの画面上で、ハンドル操作によって駐車スペースを設定。その後は、音声などの指示に従って徐行しながら前進や後退をすれば良い。ハンドル操作は自動的に行われる。手動で細かく駐車位置を設定する手間を要せず、簡単に素早く駐車できる。車両を上空から見たような映像で表示するパノラミックビューモニターには、シースルービューを設けた。ボディを透過して見たような映像になり、車庫入れなどがさらに使いやすい。これも世界初の機能だ。このほか、駐車場から出たりする時、付近の駐車車両との接触を防ぐ巻き込み警報機能なども備わる。ミリ波レーダーを使ったレーダークルーズコントロールは、全車速追従機能付きに進化。先行車が停車すると自車も止まり、停止状態を維持する。



インテリア

気遣いの室内空間

内装は従来型にもまして豪華になった。インパネは左右方向にワイドな広がりを見せ、金属調、木目調のパネルなど、質感を大幅に高めている。ステアリングホイールは本革巻きで、装飾類も緻密に造り込んだ。メーターパネルは自発光式で視認性に優れ、中央にはマルチインフォメーションディスプレイを装着。瞬間／平均燃費や航続可能距離のほか、カーナビと連動した各種の情報を表示する。また、機能的にはスライドドアの部分に装着されたサイドステップの位置を最適化。ステップ幅も180mmと余裕があり、乗降性を向上させている。



室内空間は、従来型と同様にミニバンの中でも最高峰の広さを誇る。

パッケージとシートバリエーション

室内長は50mm拡大され、居住性をさらに高めた。シートのバリエーションも多彩だ。最も注目されるのは、世界初とされる助手席のスライドシート。助手席のスライド量は最大で1160mmに達し、後方に寄せられる。電動式と手動式のオットマンも用意され、助手席の同乗者がゆったりと足を伸ばして座れるように配慮した。2列目シートについては、7人乗りのセパレートシートと8人乗りのベンチシートを設定。7人乗りにはオットマンが備わり、リラックスキャブテンシートと、各部の調節が電動式になるエグゼクティブパワーシートを選択できる。

